

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月17日実施)	総合評価 (3月8日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざして、各学部の教育内容の標準化に向けた取り組みを推進し、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領を学部で共有し、必要に応じて教育課程を見直す。  ②研修会の見直しを行う。助言のあった研修会を行う。	①新学習指導要領と照らし合せ、教育課程を見直す。  ②研修会を点数化して評価し、研修内容を見直す。	①教新学習指導要領と照らし合せ、教育課程を見直すことができたか。  ②研修会を点数化して評価し、研修内容を見直すことができたか。助言のあった研修会を実施できたか。	①実施できたが、不十分なため継続が必要である。  ②点数化や研修会を実施できたが、見直しまでは至らなかった。	①全体で共有するための時間の確保や方法を工夫する必要がある。 (教職員：肯定的71%、否定的21%)  ②職員や保護者、地域の方が求めている研修内容のニーズを探る必要がある。 ・研修内容の見直しについて (教職員：肯定的69%、否定的21%) ・意思決定を大切に (教職員：肯定的91%、否定的6%)	①「楽しく学校に通えているか」の設問に「肯定的95%」である。アンケート欄に事由を書けるよう工夫する必要がある。  ②「意思決定を尊重した授業が行われているか」の設問に「肯定的85%」である。引き続き、意思決定支援に取り組む必要がある。	①学部間で取り組み方法が異なるが、工夫して取り組めた。学部全体で共有する必要がある。  ②点数化や予定された研修会を実施することはできたが、見直しまでは至らなかった。	①今年度の成果を学部毎に共有しながら取り組む。  ②研修内容についてのアンケートを実施し、研修の在り方を見直す。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援、指導を組織的・連携的に行う。	①相談支援や専門職の利用について保護者の理解を図る。  ②ICT 機器を活用した授業実践の研修会を行う。	①保護者懇談会で、相談支援や専門職の利用について、話す機会を設ける。また、面談等で担任から、相談支援や専門職の利用のお知らせを配付する。  ②校内外の講師を活用し、ICT 機器を活用した授業実践の研修会を行う。	①保護者懇談会で、相談支援や専門職の利用について、話す機会を設けることができたか。また、面談等で担任から、相談支援や専門職の利用のお知らせを配付することができたか。  ②ICT 機器を活用した授業実践の研修会を行うことができたか。	①実施できた。  ②実施できた	①職員全体で相談支援の業務内容の理解を図る必要がある。 ・専門職の活用について (教職員：肯定的89%、否定的10%)  ②活用したい意欲はあるが、実践例を見聞きする機会が少ない。 (教職員：肯定的93%、否定的7%)	①「相談支援や専門職がいることをご存じですか」の設問に「知っている97%」である。  ②研修会を引き続き実施し、実践例を学ぶ必要がある。	①実施することはできたが、職員全体で相談支援の業務内容の理解を図る必要がある。  ②研修会を実施することはできたが、引き続き研修会を実施し、実践例を学ぶ必要がある。	①職員会議等の機会を捉え、相談支援業務内容を説明する。  ②研修会を通して授業実践を行い、実践事例を積み上げる。
3	進路指導・支援	・一人ひとりが将来をより豊かに自分らしく生きるために、障がいの特性や発達段階に応じた社会生活に移行できる進路指導・支援を行う。	①日頃の授業が「自立と社会参加」につながっていることを意識し、取り組む。また、保護者向け進路懇談会の内容を職員にも伝え共有する。  ②保護者や地域の方が求めている情報ニーズをリサーチする。	①授業の振り返りシートを作成し、全職員にアンケートを実施する。学部会等で、保護者向け進路懇談会の内容を職員に伝える。  ②保護者や地域の方が求めている情報ニーズをアンケートでとる。	①授業の振り返りシートを作成し、全職員にアンケートを実施することができたか。学部会等で、保護者向け進路懇談会の内容を職員に伝えることができたか。  ②アンケートを実施することができたか。	①実施できた。  ②別の方法で実施できたが、継続が必要である。	①人権を意識した授業が100%になっていない。 (教職員：肯定的89%、否定的8%) ・進路に関する知識について (教職員：肯定的73%、否定的16%)  ②支援通信の内容をよりわかりやすくする必要があり。	①職員への報告は、進路専任から直接話した方がよい。また、進路に関する研修会を実施する方向で検討する。  ②支援通信はわかりやすい内容になっているか」の設問に「肯定的94%」である。どのような相談内容があったのかお知らせすること	①振り返りシートを意識した授業への取り組みが見られた。進路懇談会の職員への報告の仕方に工夫が必要である。  ②保護者からのニーズを活かし、支援通信を発行することができた。わかりやすい用語で説明することや内容に工夫が必要である。	①研究授業の振り返りに際し、振り返りシートを活用する。  ②わかりやすい用語で支援通信を発行する。

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月17日実施)	総合評価(3月8日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
								で、相談利用する機会が増えると考えられる		
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>共生社会の実現に向け、障がいのある子どもの理解者・支援者を増やすために地域とのつながりを広げ、深める教育活動を展開する。</li> </ul>	<p>①切れ目ない支援部会の在り方について見直す。</p> <p>②地域と学校の資源を一覧表にしてまとめ、職員間で共有するとともに、保護者や地域に発信する。</p>	<p>①切れ目ない支援部会の構成員を増やし、取り組む。</p> <p>②地域と学校の資源を一覧表にまとめる。その後保護者や地域に発信する。</p>	<p>①切れ目ない支援部会の構成員を増やし、取り組むことができたか。</p> <p>②地域と学校の資源を一覧表にまとめ、保護者や地域に発信することができたか。</p>	<p>①実施できた。</p> <p>②実施できたが、継続が必要である。</p>	<p>①職員全体で会議報告を共有する必要がある。</p> <p>②資源一覧をどの範囲まで入れていくか検討が必要である。</p>	<p>①職員全体で会議報告を共有する必要がある。</p> <p>②「保護者目線」「地域目線」「職員目線」で考える必要がある。</p>	<p>①実施することはできたが、職員全体で会議報告を共有する必要がある。</p> <p>②実施することはできたが、用途に合わせた目線を取り入れながら作成していく必要がある。</p>	<p>①学校運営協議会及び各部会の会議録を回覧するとともに、職員会議で報告する。</p> <p>②どの目線で作成していくのか、年度初めに決めて取り組む。</p>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事防止に努め、同僚性の良質化を図り、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。</li> <li>児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。</li> <li>教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。</li> </ul>	<p>①職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。</p> <p>②様々な訓練の改善を図るとともに、必要な物品を揃えていく。</p> <p>③長時間勤務を是正する。</p>	<p>①毎月の企画会議や職員会議で事故防止に向けて取り組む。</p> <p>②反省をもとに改善し次に活かす。また、必要な物品を揃えていく。</p> <p>③学部、グループでデータ管理状況を学期に1回把握する。</p>	<p>①毎月の企画会議や職員会議で事故防止に向けて取り組む。</p> <p>②訓練の反省をもとに改善し次に活かすことができたか。また、必要な物品を揃えることができたか。</p> <p>③学部、グループでデータ管理状況を学期に1回把握することができたか。</p>	<p>①実施できたが、見直しが必要である。</p> <p>②実施できた。</p> <p>③実施できたが、継続が必要である。</p>	<p>①実施方法の見直しが必要である。 (教職員：肯定的76%、肯定的15%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の挨拶、態度、言葉遣い、服装、対応について (教職員：肯定的99%)</li> <li>敬称教育について (教職員 No13:肯定的95%、否定的5%)</li> </ul> <p>②購入した物品を使用し、訓練を実施する。</p> <p>③データ管理のルールとチェック方法を定める。 (教職員：肯定的68%、否定的18%)</p>	<p>①実施方法の見直しが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の挨拶、態度、言葉遣い、服装、対応について (保護者：肯定的92%、否定的6%)</li> <li>敬称教育について (保護者：97%、否定的1%)</li> </ul> <p>②「安心できる防災教育が行われているか」の設問に「肯定的89%」である。</p> <p>③データ管理のルールとチェック方法を定める必要がある。</p>	<p>①実施することはできたが、見直しが必要である。</p> <p>②実施することはできたが、避難経路と避難場所について検討する必要がある。</p> <p>③実施することはできたが、データ管理のルールとチェック方法を定める必要がある。</p>	<p>①不祥事防止会議で方法について検討し、実施する。</p> <p>②避難場所をグラウンドに変更して実施する。また、防火扉前にコーンを設置し、実施する。</p> <p>③データ管理のルールとチェック方法を定め、実施する。</p>